所沢市立美原中学校



7月20日(水) -----

令和4年度 第4号



学校だより No

学校教育目標

- ・進んで学ぶ生徒(知)
- ・心豊かな生徒(徳)
- ・たくましい生徒(体)

「より良い判断が求められる夏休み」

マスコミ情報の捉え方を例に。

明日から夏休みに入ります。今日は、明日から始まる夏休み中でも社会では、多くの情報が飛び交うことを想定し、その中で生活する皆さんが良い判断をし、安全で有意義な夏休みが送れるよう情報の捉え方についてお話しし、皆さんの参考にしてもらえれば幸いです。

今、皆さんが情報を得るとしたら、YouTube・Facebook・Twitter などのソーシャルメディアを はじめ TV 放送等、不特定多数に向けて一斉に情報を配信されるマスコミの存在があります。そ の情報量が皆さんに与える影響は、大変大きなものになっています。

私は、情報を考えるとき、この情報には、どんな背景や意味があるのだろう、何を伝えようとしているのだろう、この立場でこの方のコメントは、ほんとに正しいのか必要なのか、いや、その立場も尊重されるべき意見として、どのように聞くべきなのかなど、さまざまなことを感じていました。時にはあまりにも無責任な意見に感じる、聞きずらいマスコミの情報もありました。そんな時、国谷裕子さんという方の著



書「キャスターという仕事」という一冊の本に出会い、この本からマスコミに関することが少しでも分かればとすぐに読んでみました。この国谷さんは、23年間「クローズアップ現代」という NHK の番組キャスターを続けた方でした。この本の中にあるマスコミに携わる人の情熱も興味深く読ませてもらいましたが、今日は、その本の中から情報の配信側が言う「TV 報道の三つの危うさ」というところに焦点をあて紹介します。(以下引用)その本の中には、TV 放送の危うさを整理し、以下の3点について述べられていました。

- (1)「事実の豊かさを、そぎ落として事実を失ってしまう」という危うさ
- (2)「視聴者に感情の<u>共有化、一体化</u>を促してしまう」という危うさ

※共有化:一つのものを共同して持つこと

※一体化:別々のものを一つにそろえること。

(3)「視聴者の情緒や人々の風向きに、テレビ側が寄り添ってしまう」という危うさ

とありました。どれも納得して拝読しました。国谷さんの NHK の入社時の研修では、ニュース原稿や番組は、中学生にもわかるように「書け、作れ」と言われるそうです。しかし、ここでは、(1)の「事実の豊かさを、そぎ落としてしまう」という危うさについて一番難しいことだと書かれています。一歩間違えば、「わかりやすいだけの番組づくり」だけになり、事実や事実の深さ、複雑さ、多面性、つまり事実の豊かさをそぎ落としてしまう危険があり、報道番組では、このことは、命取りになると書かれていました。このような深い感性からつくられたマスコミからの情報の配信には、敬服するとともに受け手側もしっかりとした準備や感性がないと配信側の深い意図が受け取れないなと感じました。

私たち、受け取り側は、「わかりやすい」ものだけに興味を持ちがちです。特に最近の世の中に「わかりやすい」ことの裏側に秘められた難しさや言葉や課題の本質を見極め、<u>安易な情報や判断に流されない人、真実をとらえられる人材の</u>必要性を強く感じます。逆をいうとそのような人材が少なくなっているのではないかと、感じているからかもしれません。

今回は、一冊の本を引用し、私たちが大きく影響を受けやすいマスコミの情報について紹介させていただきましたが、TV や様々な配信ツール等、バラエティーや様々な立場には、それぞれの目的があります。そこには、その番組をつくるスポンサーもいます。人の会話のレベルの情報もふくめ、情報とは、様々な目的を持った人や組織のフィルターを通した情報であることを理解する必要があります。私たちは、そのようにフィルターを通った情報を正しく理解し受け取り、それをもとに正しい判断をしなくては、いけません。学校から離れる夏休みでも、それぞれの家庭でその度、変化を求められる生活様式やこれからも繰り返し続くコロナとの共存を余儀なくされることが予想されます。

今回は、そんな皆さんが正しく情報をキャッチし、豊かな人間関係を育み柔軟で実践的な「判断」の一助となればと考えお話ししました。今回、情報の捉え方を例にお話しさせていただきましたが、私の判断の根本基準は、皆さんと皆さんのご家族の安全確保だと考えています。この楽しいはずの夏休みですが、事故なく過ごせますよう、どうぞ安全だけは、十分気を付け、有意義で楽しい夏休みにしてもらいたいと願っています。 終業式 式辞より

○○スイッチをマズローの5段階の欲求から考える





美的欲求(美しいものと醜いものを見分ける能力)

セルフエスチームの欲求

(自己肯定感、自分自身を大切に思うこと)

4、承認の欲求

- ① 所属する集団の中で高く評価されたい
- ② 自分の能力を認めてもらい

☆高位の称賛の欲求

他人にどうみられるかでなく、自分が自分を承認 できるか」どうかが問題

★低位の称賛の欲求

SNSで自分の料理をSNS載せる?「いいね!」

3、社会的欲求(所属し安心感を得たい)

2、安全欲求

1、生理的·身体的欲求

夏休みに入ると、学校とは、一転した家庭というコミュニティィの中で生活することになります。学校では、「知の学力」・「社会の学力コミュニティ」の大きく二つを学びます。学校での判断は、「公」での判断になるので家庭と違うのは、当たり前のことです。しかし、この二つは、別離のものではありません。この左は、「マズロー5段階の欲求」といいい心理学では、必ず学ぶ一つであると聞きます。

この図に触れながら、今日は、少しずつ説明 を加え、夏休みを安全に充実させ、有意義な夏 休みを過ごしてください。では、始めます。

